

# 第1回鳴門市地域福祉講演会を開催しました

広い世代の市民の皆さんと一緒に、地域福祉について理解を深め、地域住民と行政・社協が協働してつくる福祉のまちづくりについて考えていくことの契機として、第1回鳴門市地域福祉講演会を開催しました。

1. 日 時 平成28年8月6日（土）13：30～15：30
2. 会 場 うずしお会館2階 第1会議室
3. 講 師 公益財団法人 さわやか福祉財団  
戦略アドバイザー 土屋 幸己 氏
4. テーマ 「地域の支え合い活動を広げるために」  
～みんなで創る新しい支え合い・助け合い社会～

## 講演会報告

この度、公益財団法人 さわやか福祉財団 戦略アドバイザーの土屋幸己氏をお招きし、「地域の支え合い活動を広げるために」～みんなで創る新しい支え合い・助け合い社会～をテーマに第1回鳴門市地域福祉講演会を開催しました。日頃から地域福祉に関わりのある方や興味のある方に多数ご参加いただきました。

泉市長のご挨拶の後、講演会では、人口減少・高齢化・自殺問題等の現状や、それらを背景として「地域包括ケアシステム」（住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療・介護・予防・生活支援等が連携して支えるしくみ）が必要となっていること、「地域」はこれからの福祉のキーワードになるということ、また、平均的モデル中学校区（人口約12,000人）における様々なデータを示されながら、地域には孤立死や虐待、災害時要援護者問題など制度の谷間のニーズがあるということ、また一方では地域には自治会・民生委員・老人クラブ・ボランティア・公民館・サロン・交番・コンビニなど様々な社会資源が存在していること、制度の谷間のニーズを継続的に支援していくためには、住民と行政の協働で地域の社会資源を活用した互助のしくみづくりが必要であること等についてお話しいただきました。

また、鳴門市と市社協が策定する地域福祉計画・地域福祉活動計画についても、「計画は地域の方々の意見を十分に反映させながら策定するものであり、今後の地域福祉を総合的に推進する上で大きな柱になるものだ」とお話しされ、富士宮市での見守り事業や認知症サポーター養成などの取り組み事例を

交えながらご説明いただきました。

質疑応答では、富士宮市の地域福祉推進委員について等、活発な意見交換がされました。

最後に多智花市社協会長からお礼のご挨拶をいたしまして、2時間という長丁場ではありましたが、盛会のうちに閉会となりました。



※8月6日に開催しました「第1回鳴門市地域福祉講演会」の様子は、テレビ鳴門で9月10日（土）11：00～13：00に放映いたします。

### 参加者の感想（参加者アンケートより一部抜粋）

- 富士宮市では、自主的に取り組みができ共通認識、ネットワークの構築ができており素晴らしいと思いました。それぞれの「やる気」を引き出す方法を知りたいです。
- 今、重要とされている地域包括ケアシステムについて、深く知る機会になりとても良かった。講師の方のお話の内容も興味深いものであった。
- 更に出生率減少、高齢化率上昇が進む見通しに疑いはない。行政対応にも限界が見えている。自助の大切さ、共助のあり方はこれからの構築問題だが、個人がバラバラに動いても効果はない。組織（老人会、自治会、社協、民生委員、福祉従事者等）の協力、協働のあり方が問われている。
- 高齢者数、認知症高齢者数がますます増加する中、専門職主導のみでは対応しかねる。地域の力は身近なところにあり、大きな戦力になることを知った。住民の積極性を信じたり、引き出したりすることが必要だと思った。
- 私の住んでいる地域でも高齢者のひとり暮らしが増えてきており、この講演会を聴いて、鳴門市でもサロンができ、地域でのネットワークができれば、皆が安心して暮らせる福祉の町になっていくと思う。